第７講
帝政ローマとキリスト教の成立②

A.D. とは Anno Domini「我らの主の御年」の略だ。

イエスは現イスラエルの首都イェルサレムの南郊ベツレヘムにユダヤ人の大工の息子として生まれた。ヨルダン川でヨハネから受浸（じゅしん）したのち奇跡を行なったが，モーセの十戒にある安息日を軽視し，**ユダヤ教の律法主義者**(1)〔　　〕や富裕な上層階級**サドカイ派**を批判した。そして**隣人愛**(2)〔　　〕を説いた。ユダヤ人はモーセやアケメネス朝のキュロス２世のように「解放」をもたらしてくれるメシアとしての役割をイエスに期待したが彼はただ「神の国は近づいた」と言うのみであった。

結局イエスはユダヤ人に訴えられローマ帝国のユダヤ総督(3)〔　　〕により磔（はりつけ）というローマの処刑（しょけい）方法で処刑された。ユダヤ人自らによる処刑なら石打であったにちがいない。

しかしイエスは復活した。(4)〔　　〕**を信じイエスこそメシア（ギリシア語でキリスト）だと証言したのが**(5)〔　　〕たちでありクリスチャンと呼ばれるようになる人々だ。『(6)〔　　〕』はヘレニズム時代の共通ギリシア語コイネーで書かれた。イエスの言行をまとめた４福音書（ふくいんしょ），使徒たちの活動，パウロらの書簡（しょかん）（大半を占める），黙示録（もくしろく）という幻から成る。

４世紀になるとキリスト教がローマ皇帝(7)〔　　〕により公認され（(8)〔　　〕，(9)〔　　〕年），(10)〔　　〕により国教となった（(11)〔　　〕年）。(12)〔　　〕公会議（(13)〔　　〕年）では，イエスの人性を強調した(14)〔　　〕派が異端となった。(15)〔　　〕公会議（(16)〔　　〕年）では，**イエスの神性と人性を分け**マリアを人としてのイエスの母と見なし**マリアの神性を否定した**(17)〔　　〕派が異端となった。(18)〔　　〕公会議（(19)〔　　〕年）では，**イエスの人性が神性に吸収される**という(20)〔　　〕が異端となった。こうして正統信仰が確立した。単性論はエジプトのキリスト教(21)〔　　〕に影響し，現在のレバノンの**キリスト教マロン派**に引き継がれる。**これらの公会議が開かれた町はいずれも現在のトルコ共和国**。トルコ共和国はキリスト教揺籃（ようらん）の地だ。ニケーア公会議における教会代表は『教会史』を書いた(22)〔　　〕で，彼はローマ帝国を「神の国の地上の模像（もぞう）」だと持ち上げた。こうして(23)〔　　〕派の正統が三度確認され次第に普遍化（カトリック）した。**アタナシウス派は父なる神と子なるイエスと聖霊を一体化して神と見なす（**(24)〔　　〕**説）。**

解答

（１）パリサイ派　（２）アガペ　（３）ポンテウス＝ピラトゥス　（４）復活　（５）使徒
（６）新約聖書　（７）コンスタンティヌス　（８）ミラノ勅令　（９）313
(10) テオドシウス　(11) 392　(12) ニケーア　(13) 325　(14) アリウス
(15) エフェソス　(16) 431　(17) ネストリウス　(18) カルケドン　(19) 451
(20) 単性論　(21) コプト教　(22) エウセビオス　(23) アタナシウス　(24) 三位一体

第７講　テスト

1　「メシア」=「キリスト」この同義語の正しい組み合わせは。

①　ギリシア語，ラテン語

②　ヘブライ語，ラテン語

③　ラテン語，ギリシア語

④　ヘブライ語，ギリシア語

2　エフェソス公会議で異端となった宗派は。

①　キリスト単性説

②　アリウス派

③　コプト派

④　ネストリウス派

3　公会議が開催されたニケーアとエフェソスはいずれも現在のどの国か。

①　フランス

②　シリア

③　トルコ

④　イタリア

4　復活や天使を認めないユダヤ教の党派と分離派として律法を遵守する党派の組み合わせとして正しいもの。

①　カタリ派，サドカイ派

②　サドカイ派，パリサイ派

③　パリサイ派，カタリ派

④　パリサイ派，サドカイ派

5　後の王権神授説につながってゆく「神寵帝理念」を唱えたのは。

①　アタナシウス

②　アウグスティヌス

③　エウセビオス

④　トマス＝アクィナス

6　新約聖書巻末の書『黙示録』の筆者は。

①　ペテロ

②　マタイ

③　ヨハネ

④　パウロ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第７講　テスト解答

1　④　　2　④　　3　③　　4　②　　5　③　　6　③

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。